

平成26年 5月23日

まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門・“はじめての一步”部門」

まちづくり活動提案書

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

提 案 名	地域のコミュニティを育む 花・緑の街 —みんなで創る住みよい街・片平—		
団 体 名	片平学区連絡協議会		
提案の 活動を行 う地域	名古屋市緑区片平学区及びその周辺地域		
提 案 の 内 容	○活動の展開 ①民有地 素材園の整備 ・畑の整地 5～7月 ・種のまきつけ ・27年度の行事予定さつまいもの茎植え⇒収穫・芋煮会の開催 ↓ 老人クラブ、ボランティア会、子供会との協働 ②花・緑の設置場所の確認作業 ・公園、空ます、花植え場所の確認 ③空ます等利用の花壇作り ・竹林整備を兼ねての竹の利用 ④環境学習会の開催——11月開催予定 花壇囲いのワークショップ（竹細工）の実施 片平ふれあいセンター内での座学 →「なごや環境大学」共育講座の仕組みの活用 ⑤旧東海道沿い並びに空きます等への花植え——11月より →名古屋市「町を美しくする運動」の協定書の締結 （土木事務所・環境事業所・区役所・地域団体） →地域住民への設置・水やり等の要請活動 ⑥花種の全戸配布による環境問題への提言 →花種と共にチラシの配布 ⑦活動母体 →学区町美推進委員会を主体に「花水緑の会」との連携による		
活動期間	平成26年4月～平成27年3月	助成金交付 申 請 額	40 万円

2 提案内容

「1 提案の内容」について、以下の4つの視点で具体的に活動内容をご記入ください。

審査基準① 必要性	・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・地域との連携や協力が得られる活動か ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か ・工事を伴う活動の場合、公益性、公共性のあるものか																							
(提案活動の必要性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。 片平学区連絡協議会の構成員として老人クラブ「新千鳥会」が「初めの一歩部門」で“花いっぱい”運動を展開（H23/助成決定） その活動から環境省の「<u>家庭環境教育強化及び体験の機会の場認定促進業務</u>」における環境課題に取り組む地域コミュニティへの支援として、実施場所として<u>全国5ヶ所のうち1カ所に「片平学区老人クラブ新千鳥会」に選定される。</u> 昨年12月には環境省の方を含め「Eco カフェミーテイング」の開催と共に、専門家の先生方の助言を受けながら、地域コミュニティを花と緑の街への転換が必要である旨、地域住民への認識を高める活動をしてきました。 同時に地域の活動（町を美しくする運動）が<u>名古屋市の「都市美化功労表彰」</u>の対象になり、この機会に学区全体に町美推進を浸透すべき認識の活動と考えております。 又、<u>緑区の今年度の区政方針にある「持続可能な開発のための教育（ESD）」</u>を推進する旨の項目も新規に提案されており、<u>推進の一助になれば</u>と考えたものであります。																								
審査基準② 独創性	・創意工夫にあふれた活動か ・地域性を活かした個性豊かな活動か ・新しい視点やアイデアがあるか																							
(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。) 花・緑を切り口として環境をベースにした取組であり、活動の方向性として「学び・伝える」楽しさの広がり、目標の根っこにある——みんなで創る住み良い街・片平——の活動です。 従来より<u>各戸前のプラントへの水やりは各戸にて実施</u>していただく事としており、住民意識の高揚が深化してきている。 本活動は学区全体の町美推進委員会（区政・保健委員会を含めて、老人クラブ・子供会・ボランティア会を含めた構成員）であり<u>学区全体の活動</u>であります。 又、活動の一つとして花種の全戸配布と合わせて「花種のひみつ」並びに環境についてのチラシを配布する予定です。 そこから<u>ESDを意識した「持続可能な社会」への認識をもって頂ければとの活動であります。</u>																								
審査基準③ 実現性	・提案内容が具体的にになっているか ・自己資金を含め、活動内容や資金計画などは妥当か																							
時期 <table border="1"> <tr> <td>平成26年4月</td> <td rowspan="10">} 素材園の整備 花苗植え場所の選定</td> </tr> <tr><td>5月</td></tr> <tr><td>6月</td></tr> <tr><td>7月</td></tr> <tr><td>8月</td></tr> <tr><td>9月</td></tr> <tr><td>10月</td></tr> <tr><td>11月</td></tr> <tr><td>12月</td></tr> <tr> <td>平成27年1月</td> <td></td> </tr> <tr><td>2月</td></tr> <tr><td>3月</td></tr> </table>	平成26年4月	} 素材園の整備 花苗植え場所の選定	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成27年1月		2月	3月	活動内容 <table border="1"> <tr> <td>学区内へ緑区区政方針の「家庭環境教育事業」の周知を計る</td> </tr> <tr> <td>行政（土木事業所・環境事業所・区役所）との協調体制と、</td> </tr> <tr> <td>具体的展開の検討。 花水緑の会との協働</td> </tr> <tr> <td>助成金決定次第、学区民への周知徹底</td> </tr> <tr> <td>協定書の締結（土木・環境・区役所・地域）</td> </tr> <tr> <td>花植え活動展開</td> </tr> <tr> <td>環境学習会の開催、花種並びにチラシ配布</td> </tr> <tr> <td>次年度活動計画について意見交換会の実施</td> </tr> <tr> <td>成果報告のとりまとめ</td> </tr> </table>	学区内へ緑区区政方針の「家庭環境教育事業」の周知を計る	行政（土木事業所・環境事業所・区役所）との協調体制と、	具体的展開の検討。 花水緑の会との協働	助成金決定次第、学区民への周知徹底	協定書の締結（土木・環境・区役所・地域）	花植え活動展開	環境学習会の開催、花種並びにチラシ配布	次年度活動計画について意見交換会の実施	成果報告のとりまとめ
平成26年4月	} 素材園の整備 花苗植え場所の選定																							
5月																								
6月																								
7月																								
8月																								
9月																								
10月																								
11月																								
12月																								
平成27年1月																								
2月																								
3月																								
学区内へ緑区区政方針の「家庭環境教育事業」の周知を計る																								
行政（土木事業所・環境事業所・区役所）との協調体制と、																								
具体的展開の検討。 花水緑の会との協働																								
助成金決定次第、学区民への周知徹底																								
協定書の締結（土木・環境・区役所・地域）																								
花植え活動展開																								
環境学習会の開催、花種並びにチラシ配布																								
次年度活動計画について意見交換会の実施																								
成果報告のとりまとめ																								

助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書(ページが不足する場合は別紙にご記入下さい。)

工 事 目 に ○	活動項目	内 訳	金 額 (円)
	(1) 物品購入	プランター 150 個 (大) @1000 50 個 (小) @400 培養土 500 袋×@200 円 化成肥料他 化成肥料・種まきの土・鶏糞等 種苗代 40,000 花種代 3300 戸×25 円 82,500 (2) 広報活動 消耗品 軍手・ごみ袋・看板(銘板等) 20,000 事務消耗品 事務用品・消耗品 20,000 講師謝金 ガーデニング指導・環境学習講師 謝金(20,000×2人) 40,000	150,000 20,000 100,000 40,000 40,000 82,500 20,000 20,000 40,000
	計	都市センター助成金 400,000 円 自己資金(注) 112,500 円 「提案したまちづくり活動に係る経費」のうち工事にかかる経費 円	512,500

(注) 自己資金には、他の助成金等を含めることはできません。

審査基準④ 今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか
発展性 助成後に地域まちづくり活動への波及効果があるか

(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

本活動は単年度の活動でおわるものではなく、花・緑をベースとして「環境」を切り口として学区の人々に ESD で基本的な考え方である持続可能な社会の担い手づくりの取組と認識しております。

当然、花・緑は年間通して循環のものであり、素材園での活動も来年度には芋の苗を植え、その収穫には子供会、小学校の PTA を含めての参加と、その後の芋煮会を学区全体への展開と共に、緑のカーテンの植物緑化を小学校を含めて公共施設に展開していく予定である。

審査基準⑤ 提案内容につながる地域での活動実績を有しているか
活動実績 (団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等をご記入ください。)
と主体性 具体的にどんな熱意を注いでいるか
工事を伴う活動の場合、自ら主体となって工事を行い、継続的に維持管理する能力があるか

※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。

※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。

この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。

団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。

緑区片平学区では、自助、公助、共助の他に(近所一向こう3軒両隣の近い関係)が重要との認識から「地域で支え合う共助の仕組みづくり」と「住環境向上一美化運動による環境課題への改革」を目指しての活動をしております。

共助の一つとして、添付たまり場「いっぷく茶屋」の活動は、『CBC イッポー』でも放映、地域の見守りの仕組みづくりをおこなっております。

併せて地域の活動の展開として「みんなでわいわい! ガヤガヤ!」と会話のできる地域コミュニティづくりを行っております。

その延長線上に最近では、簡単なお昼ごはんと共に、イベントを毎月第3土曜日に、健常者、障害者はもとより、子供、大人、老人の多世代交流会を実施している。

(添付チラシの通り)

※第2号様式は、3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とします。